



AIが合図者のジェスチャーを検知
(運転席のディスプレイ)
特に、アンサーバック機能では、建設機械のオペレーターと合図者とのコミュニケーションが双方向に可能となり、侵入検知機能では、単眼力

AI'sは、同社とごぶし建設(石見浜市)が共同開発した建設機械に簡易取り付けできるシステムで、AI(人工知能)を活用して人の骨格を推定することで姿勢を検知できる。作業員が建設機械の死角にいても合図(ジェスチャー)により両手・片手を上げた場合にAIカメラが認識し、建設機械のオペレーターに首とディスプレイ上で通知する「デジタルコミュニケーションシステム」だ。

西尾レントオールとの協業により、①アンサーバック機能②侵入検知機能③外部接点出力機能④録画機能——の機能が追加された。



木下CEO
CTスタートアップ企業『Next Terrace(ネクステラス)』は、建機レンタルメーカー

ネクステラス

札幌市の建設I

AI活用で建設現場の安全性、効率性双方が進化

木下CEOは、最新技術にチャレンジしながら実績ある技術との融合にも着目し、「建設会社さまとの『共創』の精神を大切に、心が震えるほどのわくわくする感性、感動する取り組みをお客さま、パートナーさまとともに体現したい。デジタル技術を活用して今後も顧客の思いに添えていく。わくわくがインベーションの出発点」と意欲を見せる。

「現場での安全性と生産性の両方を向上させることに成功した。AIによる骨格推定を現場での合図検知に応用するというほかにはない斬新なAIの活用法」と話す。North Canは、「計測した点群をメーカーで自動トリミングする新たなアイデアを組み込み、計測・解析がその場で完結し、手軽さ・簡単操作・安全性向上を実現した」として、建設DXがもたらす生産性向上に向けた製品として、そのメリットを語る。

PhoneやiPadのLiDARセンサーを活用した、ダンプトラックの積載量を測定できるアプリだ。除雪作業や土砂運搬など、幅広いシーンで活用され、建設現場の計測作業を劇的に効率化すると注目を集めている。



雪や土砂の計測作業を大幅に効率化

メラで距離検知可能な新技術を両社が開発し、低コストながら、安全性がさらに向上した。一方、LiDARを活用した『NorthCan(ノースキャン)』は、i

NexTerrace



建設業特化型ARアプリ『TerraceAR』

イノベーションは
わくわくする気持ちから・・・



NETIS KT-230227-A
AI姿勢検知システム『AI's』

※ごぶし建設株式会社との共同開発
※西尾レントオール株式会社 オリジナルVer.リリース



NETIS QS-230030-A
ARマシンガイダンスシステム『ARMG』

※岩田地崎建設株式会社との共同開発



LiDARを活用したダンプ積載量・除排雪量計測アプリ『NorthCan』



LiDARを活用した現場計測アプリ『ConstLiDAR』

※萩原建設工業株式会社との共同開発



照らせ、未来
ネクステラス